

《Q》区画整理法では家屋取壊し等も可能。行うのか

《A》義務ではない。羽村では協議移転が基本



山崎 陽一 議員（世論）



6か年事業実施区域には「反対看板」が並び

区画整理撤回要求第68弾

質問 「移転の可否を決めるのは権利者。反対住民もおり進捗に影響する」との答弁だが、区画整理法では家屋取り壊しの直接施行が可能。答弁に反しないか。

市長 直接施行は義務ではない。市は協議移転を基本としている。

質問 6か年の優先事項実施後で移転率39%、事業費は70%を超す。事業範囲からの飛び換地は1棟だ。残り13年で事業費、事業期間削減のため区域除外すべきでは。

市長 地区全体を一体として換地設計している。区域の一部を除外する場合は、換地

設計の見直し等に数年かかるため難しい。

質問 都市計画道路3・4・12号線及び駅前交通広場を含む3・4・13号線の整備で250棟の移転。この道路面と接する家屋は何棟で、3・4・12号線の都交付金50億4000万円のうち、用地費、補償費は。

市長 道路用地内は前者が30棟、後者が11棟。道路に接する棟数は前者が28棟、後者が15棟。用地費28億8000万円、補償費16億708万5000円。

質問 人口戦略会議の推計では、市の人口は2050年で2020年から1万1853人減少。中でも20〜39歳の若年女性人口が32・8ポイントの減とされている。市の対応は。

市長 羽村市は自然減と社会減対策が必要な自治体に区分される。若い世代の移住・定住の促進に取り組む。



《Q》未来につながる自主財源の確保の必要性は

《A》新たな自主財源の獲得を推進する必要がある



野崎 和也 議員（新国会）

自主財源の確保について

質問 経常収支比率の硬直化をどう捉えているか。

市長 財政の硬直化が進んだ状態にあり、今後とも厳しい財政状況が続くと捉えている。

質問 人口減少が進む中、未来につながる自主財源を生み出す必要性は。

市長 持続可能な都市として、将来にわたって発展していくために事業の廃止や休止、見直しなど財政健全化の取組みに加え、新たな自主財源の獲得を推進する必要がある。

質問 自主財源確保のための手段に、企業誘致制度や企業支援制度があるが、そ

の効果をどう見積もっているか。

市長 市内企業への支援施策が市内企業の成長や発展につながり、市のにぎわいを創ることに寄与すると思われる。

事業所等の誘致について

質問 建物の老朽化や物価高騰・円安で経営が厳しい事業所は、固定資産税の低い地域への移転を考えると、どうする方策は。

市長 融資制度の紹介や作業環境の維持・向上への支援などを行うことで経営基盤が安定し、立地継続の一助となり転出抑制につながると考える。

質問 誘致可能な未利用地の地主や企業等に働きかけをしているか。

市長 企業誘致には土地所有者の協力が必要不可欠なため、企業誘致促進制度を関係者に周知するなど取り組んでいる。



市と26市平均の経常収支比率の推移
（『令和6年度 羽村市の予算 わかりやすい最初の一步！』から引用）



《Q》環境配慮事業助成制度の予算増額はできないか

《A》制度や環境施策の充実を図っていく



門間 淑子 議員（市民ネットワーク）

ゼロカーボンシティ実現に向け具体策を進めよう

昨年の夏は、世界の平均気温が観測史上最も高く、産業革命前から1・48度上昇した。東京は100年間で、1・35度上昇しており、地球温暖化の主要原因である二酸化炭素の排出削減は、緊急課題である。

質問 環境配慮事業助成制度は市民要望が高い。予算の増額はできないか。

市長 羽村市の特徴として、産業部門、家庭部門から排出される二酸化炭素の量が多い。環境配慮助成制度は、中小企業や家庭に対し、直接的に支援することができ、重要な施策であり、低炭素社会の実現に向け、制度

など環境施策の充実を図っていく。

質問 全ての学校への太陽光パネル・蓄電装置の設置を急ぐべきではないか。

市長 現在、小学校2校、中学校1校に太陽光発電設備を設置している。小・中学校への設置は、環境面だけでなく教育的観点や、停電時の避難所の電力確保に有効である。施設の改修に併せて効率的に設置できるように進めていく。

質問 電気バス「はむらん」の購入が凍結されているが、見直しはどうか。

市長 温室効果ガスの排出抑制を図る観点から、電気バスを始め、環境に配慮した車両の導入に向け、情報収集に取り組んでいく。

■その他の質問
羽村駅西口地区の都市基盤整備の情報公開を



SDGsの17の目標のひとつである気候変動対策



《Q》学校給食費の無償化をすべきでは

《A》国において責任を持ち対応すべきである



濱中 俊男 議員（羽村市議会都民ファーストの会）

学校給食費の無償化について

質問 学校給食費の無償化をすべきではないか。

市長 4月の時点で、無償化を行ったのは、多摩26市中13市であった。子供たちの住む自治体によって教育格差が生まれないよう、国が責任を持ち対応すべきであると考える。

結婚・出産支援について

質問 人口減少が羽村市の税収減につながる一つの要因と考える。強力な結婚支援・出産支援が必要では。

市長 結婚を望む方には、東京都と連携した取組みを進めていく。妊娠・出産については子育て世代包括支援センターを中心とした伴走型相談支援を実施する。誰もが安心して子供を産み育てることができ、全ての子供が健やかに成長することができ、施策の推進を図っていく。

羽村駅西口土地区画整理事業の促進に向けて

質問 市長の本事業についての決意は。

市長 本事業は、既成市街地の再編整備事業として駅前交通広場や道路、公園などの都市施設を整備し、駅前市街地の再編を図るとともに、都市施設と自然が調和した市街地の再生など、総合的な「まちづくり」を目指す。今後も、更なる進展に向けて一層の努力を重ねていく。



羽村大橋から新奥多摩街道までの用地空けが進む

■その他の質問
市内の指定喫煙場所について



《Q》外国人住民の福祉の増進に向けた今後の展望は

《A》生活上の不安を解消できるよう取り組む



池澤 敦 議員（新国会）



西多摩地域広域行政圏計画(左)と福生市・羽村市多文化共生実態調査報告書(右)

多文化共生について

質問 福生市・羽村市多文化共生実態調査の外国人の要望の第一位は「日本人と外国人の交流・意見交換等を行うイベントの実施」である。市の取り組みと今後の展望は。

市長 「世界の文化講座」を平成26年度から毎年度開催している。令和2年度から5年度まで感染症の影響で開催できなかったが、今年度の開催に向け調整中である。多文化共生を推進する貴重な機会であり、今後も継続して開催する。

質問 外国人住民の福祉の増進への取り組みと今後の展望は。

市長 外国籍市民支援員制度や市公式サイトの多言語対応などのさまざまな取り組みをしている。生活上の不安を解消し、安心した日常生活を送れるよう取り組む。

西多摩地域広域行政圏計画の取り組み状況について

質問 「広域観光ルートの開発」の進捗状況は。

市長 今年度、観光振興分科会で西多摩地域入込観光客数調査を行う。この結果を基礎資料とし、各種観光推進施策を立案していく。

質問 羽村市は音楽活動が盛んである。障がい者への理解促進、人権尊重への取り組みとして、構成市町村で音楽会を開催しては。

教育長 西多摩地域広域行政圏協議会の事業に関わらず、関係団体や近隣市町村と意見交換を行い、実施について検討する。

■その他の質問
羽村堰と多摩川の水辺の活用について



議員表彰

5月22日、全国市議会議長会より、
濱中俊男議員と馳平耕三議員が
在職20年以上の表彰状を贈呈されました。
(写真左から濱中俊男議員、馳平耕三議員)



※門間淑子議員、石居尚郎議員は辞退されています。

会派名簿

新 政 会

さくらざわ 櫻沢 ひろと 裕人 いけざわ 池澤 あつし 敦
のざき 野崎 かずや 和也 あきやま 秋山 よしのり 義徳
たかだ 高田 かずと 和登 とみまつ 富松 たかし 崇

公 明 党

かねこ 金子ひとみ なかじま 中嶋 まさる 勝
とみなが 富永 のりまさ 訓正
いし 石居 ひさお 尚郎

日本共産党

はまなか 浜中 じゅん 順
すずき 鈴木 たくや 拓也

市民ネットワーク

もんま 門間 ひでこ 淑子

羽村市議会都民ファーストの会

はまなか としお 俊男
濱中

令和かがやき

はせひら こうぞう 耕三
馳平

世 論

やまざき 山崎 よういち 陽一

双 葉 会

かん 菅 ゆうしん 勇真

◆会派とは、政治上の主義や政策が同じ議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。

議会活動報告

市議会議員は、定例会や臨時会のほかにも、各々が所属する委員会や一部事務組合等に関係する会議や視察、研修などにも出席しています。

令和6年5月1日～令和6年7月31日の主な活動

5月

- 2日 ■ 文教厚生委員会市民インタビュー(声のボランティア桑の実)
- 13日 ■ 令和6年度羽村市官公署等連絡協議会
■ 行政視察受入れ(新潟県北蒲原郡聖籠町)
- 15日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会令和6年第1回正副会長・委員長会議
■ 行政視察受入れ(山口県岩国市)
- 16日 ■ 文教厚生委員会行政視察(立川児童相談所)
- 22日 ■ 全国市議会議長会第100回定期総会
- 24日 ■ 西多摩地区議長会定例会議
■ 行政視察受入れ(大阪府富田林市)
- 29日 ■ 東京都市議会議長会定例総会
■ 東京都市町村議会議員公務災害補償等組合議会臨時会
- 30日 ■ 令和6年第1回多摩都市モノレール建設促進及び公共交通対策特別委員会
■ 第9回議会改革推進委員会

6月

- 3日 ■ 第5回議会運営委員会
- 11日 ■ 第2回羽村市議会定例会(初日)
- 13日 ■ 第2回羽村市議会定例会(2日目)
- 14日 ■ 第2回羽村市議会定例会(3日目)
- 17日 ■ 第2回羽村市議会定例会(4日目)
■ 一般会計等予算審査特別委員会
- 18日 ■ 一般会計等予算審査特別委員会(補正予算)

- 19日 ■ 第2回総務委員会
■ 第2回環境まちづくり委員会
- 20日 ■ 第4回文教厚生委員会
- 21日 ■ 第10回議会改革推進委員会
- 25日 ■ 第6回議会運営委員会
- 27日 ■ 第5回広報委員会
- 28日 ■ 第2回羽村市議会定例会(最終日)
■ 第3回議員全員協議会

7月

- 4日 ■ 文教厚生委員会調査研究活動(羽村市私立幼稚園協会との懇談会)
- 9日 ■ 全国市議会議長会基地協議会第109回理事会
■ 第6回広報委員会
- 18日 ■ 第7回広報委員会
- 23日 ■ 令和6年度三鷹・立川間立体化複々線促進協議会及び多摩地域都市モノレール等建設促進協議会合同総会
- 25日 ■ 第11回議会改革推進委員会
- 26日 ■ 西多摩地域広域行政圏協議会審議会
■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
- 30日 ■ 令和6年第1回東京都後期高齢者医療広域連合議会臨時会全員協議会・本会議
- 31日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会

しぎかいカレンダー

●第3回定例会(9月)の予定●

日	月	火	水	木	金	土
				8/22 陳情メ	23	24
25	26 議運	27	28	29	30	31
9/1	2	3 本会議	4 本会議	5 本会議	6	7
8	9 予特 (補正)	10 本会議	11	12 常任委	13 常任委	14
15	16	17	18 決特	19 決特	20 決特	21
22	23	24 議運	25	26	27 本会議	28

■陳情メ…請願・陳情の9月定例会審議予定分の締切
 ■議運…議会運営委員会
 ■常任委…常任委員会(総務、環境まちづくり、文教厚生)
 ■予特(補正)
 …一般会計等予算審査特別委員会(令和6年度補正予算)
 ■決特…令和5年度一般会計等決算審査特別委員会
 ※会議の予定は変更になる場合があります。
 詳細は議会事務局までお問合せください。

議会を見よう！知ろう！

～次の定例会は9月～

以下の方法で議会をご覧ください。

- 1 議場で傍聴 ライブで！**
当日、市役所4階の議会事務局にお越しください。
- 2 ケーブルテレビで生中継**
多摩ケーブルネットワーク(TCN)で、本会議の様子を生中継でご覧になれます。放送日は横のカレンダーをご参照ください。
- 3 インターネットで録画中継**
開催日の3日後(土・日曜日、祝日を除く)から、インターネットで録画中継を見ることができます。
- 4 会議録で読む**
会議終了後2か月程度で会議録ができます。冊子または、羽村市公式ウェブサイトから見るることができます。

羽村市公式サイト

<https://www.city.hamura.tokyo.jp/>

羽村市議会

検索



編集後記

今回の市民インタビューでは、羽村町の頃から、46年という長きに渡り活動を続けている「声のボランティア桑の実」の皆さんにお話を伺いました。障害のある方に寄り添い、声を届ける活動をする中で、逆に励まされ、活動を続ける活力となったというお話もお聞きしました。改めて助け合いの尊さを認識しました。

広報委員会では、市民の皆様の期待にお応えできるよう、今後も地域の地道な活動等にもスポットを当て、親しみがあり、分かりやすく、読みやすい内容を提供できるよう情報発信に努めてまいります。
(金子)

【広報委員会委員】

富永訓正(委員長)
 濱中俊男(副委員長)
 池澤敦 野崎和也
 金子ひとみ 高田和登
 浜中順

発行/羽村市議会 編集/広報委員会

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 Fax 042 (555) 0889
 Tel 042 (555) 1111 (内線412~414)



「ぎかいのトビラ」は、再生紙を使用しています。